

	活動名	実施回数	参加人数										合計	内 容	成 果 と 課 題
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア					
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人			
基 本 活 動	てらこやひろまち	113	0	6	4797	0	581	0	0	3	7	0	5394	学校の宿題をメインに学習に取り組み、学習習慣を身に着ける。	学習に積極的に取り組んでいる子とそうでない子がいた。
	てらこやしんまち	113	0	2	2384	0	354	0	0	0	2	0	2742		
	フラフープ&ダンスクラブ	27	0	135	97	133	15	1	20	0	0	0	401	フラフープの技を磨いたり、クラブ内の仲間と一緒に音楽に合わせて演出を考えたりする。	高学年を中心に主体的に活動できていた。
	将棋クラブ	21	0	96	30	2	0	0	23	0	0	0	151	駒の動かし方から学び、将棋の上達を目指す。	より意欲的な子の上達が良く見られ、保護者とも協力して熱量を持って取り組めた。
	アートクラブ	20	0	44	48	46	2	0	9	0	0	0	149	様々な技法を学び、表現の幅を広げる。	年間を通して様々な技法で作品を作り、ゆめフェス、クラブ発表会で作品を発表できた。
	きりえクラブ	22	0	145	34	16	6	0	0	0	0	0	201	カッターの持ち方・使い方を学びながら、切り絵を楽しむ。	継続して取り組んでいる子は上達が著しく、細かい作品を作り上げていた。
	けんだま・おてだまクラブ	91	0	1	976	5	33	0	1	0	0	0	1016	けんだまやおてだまの技を磨いたり、回数を職員に教えてもらったりして意欲的にけんだまおてだまに取り組んだ。	記録会の順位の熱量もあり、ゆめフェスなどで発表への意識も出てきた。
	卓球ひろば	40	0	13	56	6	9	0	4	0	0	0	88	異年齢が集まり卓球を気軽に楽しむ。	卓球ができることを楽しみに、土曜日の自由来館があった、今後中高生にも広めていきたい。
	ピリーゼミ	4	0	1	177	0	16	0	0	0	40	4	238	同志社大学のゼミの学生による、国際理解を促す取組や環境問題への理解を促す取組等を遊びを通して学ぶ。	活動前に事前に打ち合わせを行うことで、内容を充実させることができた。また、新しく交流が始まったゼミもあり、様々な内容の学びが増えた。
	小谷ゼミ	7	0	0	173	0	19	0	0	0	40	0	232		
	新見ゼミ	1	0	0	43	0	5	0	0	0	8	0	56		
	奥井ゼミ	1	0	0	69	0	6	0	0	0	8	1	84		
	サイバーSNS等の学生発表	1	0	0	53	0	10	0	0	0	7	4	74		
	おばけやしきミーティング	1	0	3	3	1	16	0	0	0	0	0	23	おばけやしき開催にむけて、高学年を中心とした実行委員で話し合う。	楽しんでもらえるイベントにするため、大人も子どももアイデアを出し合うことができた。
	おばけやしき	1	13	33	0	30	0	0	39	0	0	0	115	実行委員が中心となり設営・運営し、来館者を楽しませる。	参加者が楽しむ姿がたくさん見られた。暗幕の使用手法や換気、空調等も考慮しながら行う必要があった。
	ゆめのこフェスティバルリハ	1	0	0	0	3	7	0	0	0	0	0	10	ステージ発表に向けてのリハーサルに取り組む。	発表の流れや不安な部分を確認することができた。
	ゆめのこフェスティバル	1	44	25	10	18	4	99	197	0	2	1	400	学童クラブの一大イベントとして、学童の手話歌、クラブ発表、ヒーローショー、紙芝居のステージを企画し、多くの児童、保護者に見てもらった。	手話歌やクラブの発表は当日に向け頑張って練習していたので、参加した児童も保護者も満足していた。
	クリスマスお楽しみ会	1	27		88	2	13			5			135	個人やグループでとくい発表をしたり、招待した保育園児との交流を楽しんだ。	ネットワーク内の保育園にみえていただき、盛大なイベントになった。こどもたちの得意発表は、練習会が必要。
	ドッジボール大会練習	5		47	15								62	ドッジボールフェスティバルに向けた練習。	当日に向けルールやチームの確認ができた。
	ドッジボールフェスティバル	1		2	40	3	5						50	第1ブロックのドッジボールの取組で、島津アリーナで思いっきり楽しんだ。	昨年の分散開催から、一斉開催に変更し、大きな会場で他の児童館・学童保育所とドッジボールができた。
クラブ発表会	1		15	51	9	3						78	一年間の総まとめのクラブ発表をする。	ステージ発表のあるクラブはゆめフェスから新しい演目に挑戦し、文科系クラブも一年の成果を作品として発表することができた。	
合 計	473	84	568	9144	274	1104	100	298	3	114	10	11699			
推 進 活 動	合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
子 ど も 育 成 機 能	合 計	473	84	568	9144	274	1104	100	298	3	114	10	11699		

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。

推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。

指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

(R5) 年度 児童館事業年間活動報告書 (室町) 児童館

	活動名	実施回数	参加人数										内 容	成 果 と 課 題		
			乳幼児		小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア				合計	
			自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ	中高生	大学生			大人					
子 ど も 家 庭 支 援 活 動	ひなたぼっこ	38	361	1	0	0	0	0	406	0	0	0	768	職員による、手遊びや読み聞かせ、体操、季節の工作、誕生会などのプログラムに参加する。	2歳クラスの人数が増え、各クラスの人数のバランスがとれていた。	
	ぼかぼかくらぶ	37	337	0	0	0	0	0	311	4	1	0	653			
	さんさんくらぶ	37	421	0	0	0	0	0	352	0	0	0	773			
	あそびのひろば	39	155	0	0	0	0	0	155	4	2	5	321	年齢制限なし。大型遊具を開放し、自由に過ごす。片付けの後に手遊び、体操、読み聞かせのプログラムを行う。	前年度よりも多くの参加があった。	
	のびのびイングリッシュ	15	86		1				71				4	162	大学の講師を招き、満2歳以上の幼児向けの事業で、英語を使って遊んだり、歌を歌ったりする。	年齢に応じた内容で、参加された方も楽しんでいた。
	ベビーマッサージ	4	12						15					27	資格を持つ職員が講師となり、ベビーマッサージを行う。	少数で落ち着いて出来た。
	おひさまひこにこ広場	7	56		1				65				8	130	はぐくみ室と連携した年間8回程度の子育て連続講座。	内容によって参加者のばらつきがあり、講義的なものは検診で聞く内容と同じこともあり参加が少なかった。
	ランチタイム	12	48						36					84	児童館の遊戯室を開放し、昼食を食べながら交流できる場として活用してもらう。	コロナ禍も落ち着きはじめ、利用者の増加がみられた。乳幼児クラスおわりの憩いの場となっていた。
合 計	189	1476	1	2	0	0	0	1411	8	3	17	2918				
推 進 活 動	(3)子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路				件数	相 談 内 容			件数	つないだ機関等		件数	
		乳児 幼児 小1～3年(自由来館) 小1～3年(学童) 小4～6年(自由来館) 小4～6年(学童) 中学生 高校生	1 3 0 0 0 0 0 0	児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター 主任児童委員 その他 { }				4	健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他 { }			1 3	児童相談所 保健所 子ども支援センター 幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 その他 { }		0 0 0 0 0 0 0 0	
		件数 計	4	-				4	-			4	-		0	
(4)子育てグループを育成・支援する活動	グループ名	構成人数	活 動 内 容				育 成 ・ 支 援 内 容				成 果 と 課 題					
	活動名	実施回数	活 動 内 容				成 果 と 課 題									
(5)子育てと健全育成に関する啓発活動	グループ名	構成人数	活 動 内 容				成 果 と 課 題									
	活動名	実施回数	活 動 内 容				成 果 と 課 題									

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動[①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動](2)家族参加を促す活動に分類して記入すること。

地域 福祉 促進 機能	基 礎	(1) 地域住民との交流を促進する活動	活動名	実施回数	主催	参加人数						連携団体	成果と課題		
			乳幼児	小1~3年	小4~6年	中高生	大人	合計							
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ								
			ドリームチルドレン	1	室町児童館 西陣児童館 上京児童館	9	0	0	0	0	0	18	27	上京区役所 西陣児童館 上京児童館	0歳の乳児さん親子を対象にグループで話し合い、かかわりを深めることができた。
			ほっこりにこにこトークン	1	室町児童館	5	0	0	0	0	0	15	20	上京区こどもはぐくみネットワーク	乳児さん親子を対象にグループで話し合い、かかわりを深めることができた。
			京友禅体験	1	室町児童館	3	29	10	0	0	0	32	74	京都市芸術文化協会	昨年度から継続して行い普段学童を利用していない親子もおたよりなどを見て参加してもらっていた。京都ならではの伝統文化に親子で触れ合うことができた。
	車いすバスケットボール講演会	1	上京区民会議	0	0	8	0	1	0	0	9	上京はぐくみ支援室	車いすバスケットボールというスポーツを知り、体験することができた。		
	合計	4	-	17	29	18	0	1	1	65	130				
	本 社 活 動	(2) ボランティア活動の推進	活動内容			活動人数				成果と課題					
						中高生	大学生	大人	合計						
			様々な大学との連携事業												
			・ピリーゼミ				40	4	44						近くに大学が多く存在し、学生が研究内容を地域に還元する場としてよい関係を築けている。特に同志社大学のピリーゼミ、小谷ゼミは年間を通しての活動で、活動前に打合せを行うことで、内容の充実化を図ることができている。また、新たに連携をとり活動が始まったゼミもあり、今後より一層内容の充実が見込めると思われる。
			・小谷ゼミ				40	0	40						
			・新見ゼミ				8	0	8						
			・奥井ゼミ				8	1	9						
	・サイバーSNS				7	4									
	合計				103	9	101								
	機 能	(3) 地域との連携を促進する活動	連携団体等	連携内容				成果と課題							
			老人会 社会福祉協議会 市政協力委員会 室町学区民生児童委員会(主任児童委員) こぐま白雲北保育園 心月保育園 鶴山保育所(オブザーバー) 上京区子どもはぐくみ室(オブザーバー)	9月23日(土) 敬老の集い 室町学区子育てネットワーク				室町学区にお住まいのお年寄りにメッセージを書いてプレゼントしたり代表の子が「集い」で挨拶をしたりして敬老の日をお祝いした。子どもたちにとってはお年寄りについての感謝の念を持たれたことと地域に児童館のことを大きくアピール 年間3回、地域における子育て支援についての情報交換をおこなっている。また、お互いの年間行事を交換して参観し合うことも始めてきた。今年度、就学前に児童館から各園に出向いたり、クリスマス回に園児を招いたりする中で、園での様子をつかむことができた。							

地 域 福 祉 促 進 機 能	基本活動	(4) 児童館を支える地域組織作り	組織名称		構成団体・個人		会議／取組頻度	議題／取組内容	成果と課題
			京都市室町児童館運営協力会		<ul style="list-style-type: none"> ・室町市政協力委員会 ・室町民生児童委員会 ・室町社会福祉協議会 ・室町少年補導委員会 ・室町体育振興会 ・室町老人クラブ連合会 ・室町女性会 ・室町小学校PTA ・烏丸中学校PTA ・京都市室町小学校 ・京都市烏丸中学校 		年に1～2回程度	<ul style="list-style-type: none"> ・活動報告 ・活動支援要請 ・地域の情報交換 ・児童アンケートの分析 	開館より27年間、ずっと支援してもらっている。大所高所よりご意見を頂いたり、地域資源を紹介してもらったりしている。
	(5) 地域への施設提供	会場提供・備品貸出等		使用目的		提供先(団体・機関等)		成果と課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・和室 ・遊戯室 ・印刷機の提供 ・机や椅子の提供 ・湯沸し器の提供 ・便所の提供 		<ul style="list-style-type: none"> ・町内会の打ち合わせ ・地藏盆の打ち合わせ 		<ul style="list-style-type: none"> ・町内会(頭町・祖国寺・祖国寺門前町・下柳原北半町・西門前南部町・畠中町)等 ・室町老人クラブ連合会 ・室町体育振興会 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域との関係が深まる。 ・使用許可書の定着、地域の窓口も固定。 ・使用時間も閉館後からでお願いし、ダブルブッキング等もなかった。 ・共生のまちづくりが進んでいる 			
(6) 地域調査活動	調査名		調査目的	調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題		

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	おたより ・むろまちじどうかんだより (各行事等のお知らせ)	月1回	児童とその保護者(家庭)及び 地域住民・地域連携団体 地域の学校、運営協力会 同法人内児童館・ブロック内児 童館、学童保育所 幼児さんの家庭・地域住民	・館にて配布。 ・協会・ブロック施設長会へ持参 ・地域の赤ちゃん訪問で配布 ・さくらdaysにて配信 ・地域の小学校で全家庭に配布	・その月の行事予定 ・幼児クラブの活動内容 ・児童館事業のお知らせ	小学生対象のものを表面、乳幼児対象のものを裏面でまとめることで、内容を見やすくした。HPにもPDFで載せることによって、普段来館する人以外にもおたよりを見ていただけ、来館するきっかけづくりにもなった。
	ポスター イベント等のお知らせ	イベント毎	イベント対象者 (乳幼児さんとその保護者、 小学生など) 各学校	児童館前の掲示板 2階踊り場の掲示板 学校にて掲示していただく さくらdaysにて案内を配信	イベントの日程や内容、申込方法など	イベントが開催される毎に掲示板を使って、ポスターの掲示をした。カラーにする、子どもが企画するイベントであればポスターの作成をする等目に留まりやすいものになるよう、工夫した。児童館前の掲示板を利用すると、通りがかりの人が足を止めてみてくれたり、興味深げにしている人もおり、参加者を増やすきっかけになった。
	ホームページでの広報	月1回	学童クラブ登録児童の保護者 乳幼児クラブ登録の保護者 その他インターネットを利用する子育て家庭	児童館学童連盟ホームページ 京都社会福祉協会ホームページ	月ごとのお便り 各イベントの詳細	「休会届」などの各種必要な書類などを手軽にダウンロードして利用してもらっていた。アクセスカウンターがないので、保護者がどれぐらいの頻度で利用しているかは不明。だが手ごたえは感じている。

(令和5) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(室町) 児童館・学童保育所

	活動の基本目標 (指針)	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活援助機能	安全・衛生の確保 健康の管理・情緒の安定 基本的生活習慣の確立 社会生活技術の獲得	避難訓練 手洗い・うがいの励行 オリエンテーション 帰宅指導 班活動 当番活動	<p>○地震や火災が起きた時などいろいろなシチュエーションで行った。職員もこの避難経路でよかったか、人数確認の方法は適切であった等、改善点を話し合うことができた。分室では火災避難訓練3階からの避難袋を使つての訓練も行った。地震避難訓練の場合、実際に地震が起きたため、訓練通り職員も子ども達も身を守ることができた。訓練の成果がでたと感じた。</p> <p>○感染予防のため、帰館後やおやつ前に加え、帰りの会前やおやつを食べた後などに行つた。またおやつの際や帰りの会などでも手洗いの必要性を伝え、子どもたち自身が積極的に行えるよう心掛けた。</p> <p>○新入生にオリエンテーションを行うことにより、学童での生活の援助をすることで、家庭に帰つても身の回りのことをできるようになってきたという声もいただいている。</p> <p>○丁寧に帰宅指導をすることにより、事故等未然に防ぐことができた。</p> <p>○異年齢グループで班をつくり、班ごとにわかれておやつや清掃など行つた。その中で特におやつ時間は3年生以上がリーダーとして机の準や台拭き、おやつの配付などすることにより下の学年のお世話や指導をする姿も見られるようになってきた。」</p> <p>○3年生以上がリーダーとして当番活動をする事で責任感を持ち、年下の友だちに親切に接したりする姿、児童館のルールや今何をすべきかを指導する姿もみられるようになってきた。</p>
子ども育成機能	生活体験の拡大 社会性の養成 自立の促進と自主性の尊重	各行事に向けての取り組み入会式 誕生会 館内行事 みんなであそぼう・新入生を迎える会 おばけやしき・だしやさん ハロウィン・クリスマス会 クラブ活動 ブロックやんちゃまつり ドッジボールフェスタ ゆめのこクラブ修了式	<p>○一堂に会して顔を見る機会もないため、入会式を開くことで全員同じ室町児童館の一員である認識が持てた。また、本館と分室に分かれての活動が主になるので、全職員を紹介できる場があつて保護者も安心されていた。</p> <p>○本館・分室各施設で帰りの会などを利用して、誕生日を迎えた子の紹介をした。他の子がインタビューを受けているの見て、何と答えようかドキドキしている子もいれば、恥ずかしくててれているなど子など様々ではあるが、誕生会や誕生カードを楽しみにしている様子がみられた。</p> <p>○館内行事を通して、活動の中で子どもたち同士がコミュニケーションを取り、遊びのルールを学び、積極的に活動に参加していた。また活動の中で行事を運営したり、積極的に出し物に参加するなど自主性も育むことができた。特にクリスマス会では保育園の年長さんの参加もあり、子ども達が頑張らないといけないという意識につながった。また出身保育園の先生方から言葉をかけてもらい成長した姿を見ることができ、子ども達の自信につながった。</p> <p>○クラブ活動では子どもたちが技の向上を積極的に図り、年2回の発表ではその成果を発揮でき、大きな自信となった。</p> <p>○ブロックやんちゃまつりでは子どもたちが積極的に参加し、各コーナーを楽しみながら参加したり、舞台発表を盛り上げてくれた。</p> <p>○ドッジボールフェスタでは子どもたちが短いながらも練習の成果を発揮し、楽しく他の児童館と交流をすることができた</p> <p>○本館・分室の子どもたちが一度にそろって行つた。職員の離任式とクラブ発表会も同日に行い、年度のいい締めくくりとなった。</p>
子育て支援機能	子育てに必要な情報の提供と交換 子育ての仲間づくり 子育てを支えるネットワーク形成	ゆめのこつうしん (学童クラブ便り)の発行(月に一回) 個人懇談会・夏季懇談会・ 登録説明会・内定説明会	<p>○各月の予定や伝えたいこと、子どもたちの様子などを分かりやすくお知らせした。また、おたよりを発行した日に一斉メールにて保護者に発行したことをさくらDays等で伝え、子どもからの渡し忘れが無いようにした。</p> <p>○懇談会や説明会を開催により、連絡事項の伝達の徹底を図つた。その中で学童クラブの生活の様子をスライドショーで見ってもらうことにより、子どもたちの学童クラブでの様子を理解してもらった。また、1年生全員と、希望者には個人懇談を行い、館での様子を丁寧に説明し、保護者に安心して頂ける学童作りを目指してきた。</p>

(令和5) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(室 町) 児 童 館 ・ 学 童 保 育 所

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合 計	内 容		
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1~3年	4~6年	中高生	大学生	大人					
(1) 生活援助機能																	
安全指導	305	2928	1339	1869	634	236	143				9			62	7236	集団帰宅する児童への帰宅指導を行った。	
挨拶・手洗い・うがいの励行	305	2928	1339	1869	634	236	143				9			62	7236	日常生活の中で必要とされる、「あいさつ・手洗い・後片付け」や今日の振り返り、明日の予定などを毎日行ってきた。	
避難訓練(本館・分室合計)	毎月(月1)	189	90	109	32	10	5				7	4		62	508	年間計画に沿って月ごとに、火災・地震・防犯などを行ってきた。	
オリエンテーション	4月1日	56													56	学童クラブを初めて利用する児童に向け、学童での過ごし方やおもちゃの使い方などのオリエンテーションを行った。	
SDGs活動	305	2928	1339	1869	634	236	143				9				7236	大学のゼミなどを通して日頃からSDGsについて学んでいる。	
下館指導	305	2928	1339	1869	634	236	143				9				7236	「朝の宿りの声」や、日常生活の中で必要とされる、「あいさつ・手洗い・後片付け」などを毎日の活動の中で身につけてもらおうと、意識的に働きかける。また、ふりかえりや明日の予定なども毎日行ってきた。	
班活動	305	2928	1339	1869	634	236	143				9				7236	生活の力の獲得のために日々のおやつ時間、土曜・長期休業中の食事や清掃など班で動いた。	
当番活動	305			1869	634	236	143				9				2891	自立の促進と自主性の尊重を図るために、3年生以上をリーダーとする活動(おやつや食事時の配膳や片付け及びあいさつ、朝の会帰りの会の日直、行事の運営及び準備等)を行った。	
(2) 子ども育成機能																	
入会式	4月1日	38												38	38	新入生を迎える式典をおこなった。式典の中では新入生の紹介もおこなった。	
みんなであそぼう	4月4日	42	18	24	10	4	2								100	本館・分室ともに小学校の体育館で体を動かして楽しく交流した。	
新入生を迎える会	4月7日	43	29	31	15	5	4								127	児童館内のクラブ活動の内容をクラブの子たちが紹介した。	
誕生会	随時(毎月)	436	202	263	64	27	14				1				1007	子どもが誕生日を迎えた日もしくはそれに近い日に、おやつ時間や帰りの会の時にお祝いをした。	
おばけやしき実行委員会	5日間			3	16					3	1				23	3年生以上の実行委員が中心となり準備や当日の運営方法など取り決めを行った。	
おばけやしき	8月5日	44	11	18	7	2	0								52	3年生以上の実行委員が中心に入る際の説明やおばけやしきの仕掛けなどを行った。	
だがしや実行委員会	8月1・21日			6	10	4	0									138	3年生以上が実行委員となり、だがしやについて話し合いをし、当日の準備や運営の計画を行った。
だがしや	8月22日	42	24	36	16	6	4									98	実行委員が当日の店員や進行を行った。
ハロウィン	10月31日	38	15	18	2	2	1									76	ハロウィン工作などを事前に行い気持ちを盛りあげた。当日は仮装やフェイスペインティングを行い楽しく過ごした。
クリスマスお楽しみ会	12月25日	42	19	27	8	3	2									59	小学校の体育館を使い、実行委員が中心となって得意発表会も行った。また今年度は保育園の年長さんも招いて行ったので、意欲的に発表ができて子ども達の自信にもつながった。
ゆめのこクラブ修了式	3月25日	49	24	29	9	4	1	15			9					82	本館・分室が合同で、離任式後、クラブ発表を觀たり、振り返りのスライドを見たりして1年間のまとめの会を行った。
ブロックやんちゃ	7月15日	11	11	11	3	2	2				1					25	おてだま・けんだまクラブとフラフープ&ダンスクラブが舞台発表し花を添えた。また参加した子ども達が様々なゲームを楽しんだ。
ドッジボールフェスタ	1月5日	21	8	15	6	3		1								44	1月5日に学童を利用する子ども達を中心に低学年の部と高学年の部にわかれ交流試合を行った。
(3) 子育て育成機能																	
個人懇談会	6月5日～17日														大75	75	新規利用の家庭と継続で懇談を希望する家庭と児童館の様子や家庭の様子など情報交換をおこなった。
夏季懇談会	7月8日														147	147	夏休みの利用方法や行事の話など夏休み利用する家庭にお伝えした。
登録説明会	1月6日														32	32	令和6年度の新規登録の家庭に登録方法を伝えた
内定説明会	3月2日														154	154	次年度利用する家庭に学童の利用方法についての案内を行った

*注1 行事名は、(1)生活援助機能 (2)子ども育成機能 (3)子育て支援機能に分類して記入すること
 *注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること